1： 製品および製造会社の情報

1.1 製品名 ： フィッシャー ハイパーフォーム PU 1/500 B2
1 液性簡易発泡硬質ウレタンフォーム

1.2 用途 ： 建築用隙間への充填

1.3 製造会社 ： fischerwerke GmbH & Co. KG　Klaus-Fischer-Straße 1
72178 Waldachtal, Germany

1.4 緊急時の連絡先 ： フィッシャージャパン株式会社
輸入元・販売元　〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-4-15 プロンテ九段ビル 3 階
電話 ：03-3263-4491　FAX : 03-6272-9935
ホームページ ：www.fischerjapan.co.jp
E メール ：info@fischerjapan.co.jp

2： 危険有害性の要約

2.1 製品の分類

分類（規則（EC）No 1272/2008）

エアゾール、エアゾール　区分 1	H222 : 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。 H229 : 高圧容器 : 熱すると破裂のおそれ。
皮膚腐食性／刺激性、皮膚刺激性　区分 2	H315 : 皮膚刺激。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性、眼刺激　区分 2	H319 : 強い眼刺激。
呼吸器／皮膚感作性、呼吸器感作性　区分 1	H334 : 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。
呼吸器／皮膚感作性、皮膚感作性　区分 1	H317 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
発癌性、発癌性　区分 2	H351 : 発がんのおそれの疑い。
特定標的臓器毒性-単回暴露、STOT SE　区分 3	H335 : 呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器毒性-反復暴露、STOT RE　区分 2	H373 : 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。

2.2 ラベル要素

注意喚起語（規則（EC）No 1272/2008）

シンボル：　GHS02　GHS08　GHS07

注意喚起語：　危険

関連 H フレーズ（番号と内容）:

H222	極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。
H229	高圧容器：熱すると破裂のおそれ。
H315	皮膚刺激。
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H319	強い眼刺激。
H334	吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H351	発がんのおそれの疑い。
H373	長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。

関連 P フレーズ（番号と内容）:

P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルをもっていくこと。
P102	子供の手が届かない所に保管すること。

予防：

P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P211	裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
P251	使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面／聴覚保護具等を着用すること。

反応：

P304+P340+P312	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。具合が悪い時は医師の診察を受けること。
P342+P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師の診察を受けること。 息させること。具合が悪い時は医師の診断を受けること。

保管：

P405	施錠して保管すること。 息させること。具合が悪い時は医師の診断を受けること。
P410+P412	日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

廃棄：

P501	内容物／容器を自治体の規則に沿って廃棄すること。

有害成分

ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート　異性体および同族体

欧州における参考補足

「2023 年 8 月 24 日以降、産業または専門的に使用する前に適切なトレーニングが欧州にて必要となります。」
既にジイソチアネート系に感作されている人が本 製品を使用すると、アレルギー反応を引き起こす可能性があります。
喘息、湿疹および皮膚の問題にお悩みの人は、皮膚接触を含み、本 製品への接触を避ける。
適切なガスフィルタ付き保護マスク（例：欧州規格 EN 14387 によるタイプ A1）を使用しない限り、換気不良の環境下では、本 製品を使用することは避ける。

2.3 その他危険性

本 物質／混合物には、残留性・蓄積性・毒性を有する物質 (PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic) または高残留性・高蓄積性を有する物質 (vPvB = Very Persistent and Very Bioaccumulative) とみなされる成分が 0.1%以上のレベルで含まれていません。

生態情報：本 物質／混合物には、REACH Article 57(f) または Commission Delegated regulation (EC) 2017/2100 または Commission Regulation (EU) 2018/605 に従い、内分泌かく乱特性があるとみなされる成分が 0.1%以上のレベルで含まれていません。

毒物学的情報：本 物質／混合物には、REACH Article 57(f) または Commission Delegated regulation (EC) 2017/2100 または Commission Regulation (EU) 2018/605 に従い、内分泌かく乱特性があるとみなされる成分が 0.1%以上のレベルで含まれていません。

3： 組織／成分の情報

3.1 混合物

有害成分 ：

化学物質名	CAS-No. EC-No. Registration No.	分類	含有量 [重量%]
三塩化ホスホリルおよびメチルオキシランの反応生成物	1244733-77-4 807-935-0 01-2119486772-26-xxxx	急性毒性 4；H302 慢性水生毒性 3；H412	10 以上～20 未満
		急性毒性推定値 急性経口毒性:630 mg/kg	
ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート異性体および同族体	9016-87-9 付与無し	急性毒性 4；H332 皮膚刺激性 2；H315 眼刺激性 2；H319 呼吸器感作性 1；H334 皮膚感作性 1；H317 発がん性 2；H351 特定標的臓器毒性（単回暴露）3；H335 (呼吸器系) 特定標的臓器毒性（反復暴露）2；H373	10 以上～20 未満
		特定濃度限界 眼刺激性 2；H319 5%以上 呼吸器感作性 1；H334 0.1%以上 皮膚刺激性 2；H315 5%以上 特定標的臓器毒性（単回暴露）3；H335 5%以上	

化学物質名	CAS-No. EC-No. Registration No.	分類	含有量 [重量%]
作業場暴露限界による物質			
イソブタン	75-28-5 200-857-2 01-2119485395-27-xxxx	引火性ガス 1A；H220	5 以上～10 未満
ジメチルエーテル	115-10-6 204-065-8 01-2119472128-37-xxxx	引火性ガス 1A；H220	2.5 以上～5 未満
プロパン	74-98-6 200-827-9 01-2119486944-21-xxxx	引火性ガス 1A；H220	2.5 以上～5 未満

略語の説明は 16 章を参照。

4： 応急処置

4.1 応急処置の用例

一般情報　危険な領域から患者を移動する。 事故又は病気の場合は直ちに診察を受ける。
医師の診察の際、この安全データシートを見せることを薦める。

吸入した場合　新鮮な空気を供給する。

皮膚に付着した場合　付着した衣類を直ちに脱衣および靴を脱ぐ
皮膚へ接触した後、十分な水と石鹸で洗い流す。
皮膚刺激の場合には医師の診断を受ける。

眼に入った場合　眼に入った場合は直ちに大量の清水で洗眼する。
コンタクトレンズを外す。
洗眼中は瞼を開く。
直ちに眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合　無理に吐かせない。
口を水で濯ぐ。
牛乳およびアルコール類は飲まない。
意識がない場合は決して口から何も与えない。

4.2 最も重要な症状および効果、急性および遅延性

症状　喘息症状
咳
呼吸器疾患
アレルギー反応
過度の流涙
紅斑
皮膚炎
健康への影響および症状の詳細については、11 章を参照。

リスク　刺激性
感作性

皮膚の炎症を引き起こす。
アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。
重度の眼刺激を引き起こす。
吸入するとアレルギーおよび喘息の症状、呼吸困難を引き起こす可能性がある。
呼吸器への刺激を引き起こす可能性がある。
がんを引き起こす疑いがある。
吸入すると長時間または繰り返しの暴露すると臓器に損傷を与える可能性がある。

4.3 応急診療および特別措置の必要性

処置　対症療法的に治療

5： 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤　ウォータースプレージェット
乾燥粉末消火剤
泡消火
二酸化炭素（CO_2）

安全上使用禁止の消火剤　大容量ウォータージェット

5.2 特有の危険有害性

危険な燃焼生成物　二酸化炭素（CO_2）
一酸化炭素（CO）
窒素酸化物（NOx）
塩化水素（HCl）
塩素化合物
臭素化合物

5.3 消火活動をされる方々の保護

消火のための特別な設備　火災の場合、自給式呼吸装置を着用する。

消火上の追加情報　未開封容器を冷やすためウェータースプレーを使用する。

6： 漏出時の措置

6.1 人的の予防措置、保護装置、緊急事態の対処法

人体への警告　人体防護装置を着用する。
防護されていない人を立ち入りさせない。

6.2 環境保護対策

環境上の警告　地表水および排水溝などへ流さない。
本 製品にて河川および湖または排水高溝等を汚染した場合は関連局へ連絡する。

7： 扱いおよび保管

7.1 安全な処理のための措置

安全な取扱いについてのアドバイス：

所定の作業場における暴露限度を超えないようにする。（8 章を参照）
眼、皮膚、衣類に付着しないように注意する。
人的保護に関して 8 章を参照。
皮膚感作の問題および喘息、アレルギー、慢性または再発性の呼吸器疾患の既往歴のある人は、この混合物が使用されるいかなるプロセスにも雇用されるべきではない。
作業エリアでは喫煙、飲食は禁止です。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
内容物に圧力がかかっているため、開封等は慎重にする。
化学製品を取扱う際には、基本的な衛生対策を講じること。

火災および爆発からの保護：

熱／火花／裸火／高温な表面から遠ざける。 禁煙。裸火および白熱灯物質に噴射しないこと。 静電気放電に対する予防措置を講じること。

衛生的な措置：

適切な産業衛生および安全慣行に従って取扱う。
使用の際は飲食しない。 使用の際は喫煙しない。 休憩前および作業後は手を洗う。

7.2 不適合性を考慮した安全な保管のための条件

保管スペースおよびコンテナ—の必要条件：

注意：加圧されたエアゾール製品です。 直射日光を避け、温度 40 ℃を超える場所には置かない。使用後も穴を開けたり、燃やしたりしない。裸火または赤熱体に向けて噴射しないこと。 元の容器のみで保管すること。 容器を密閉しよく乾燥した場所に保管すること。 ラベルの注意事項を読むこと。 地域の規則に従い保管すること。

ドイツ保管クラス（TRGS 510）： 2B
（Technical Rule for Hazardous Substances 510, ドイツ危険物質 510 のためのテクニカル規則）

保管に関する追加事項：

熱と直射日光を避けること。
温度 40 ℃を超える場所には置かない。

乾燥した冷暗場所：

最適保管温度 15～23 ℃
23 ℃を超える温度の保管は、温度と期間により、著しく有効期限を短くする。

7.3 特定の最終用途

特定の使用：

非プロトン性極性溶剤を使用した洗浄は避けること。
使用前に、最新の製品データシート等を参照すること。

8： 暴露防止および保護措置

8.1 管理項目

職業上の暴露限界（ドイツ）

化学物質	CAS 番号	値型 （暴露の形態）	管理 パラメータ*	基準*
ポリメチレンポリフェニル ポリイソシアネート 異性体および同族体	9016-87-9	AGW （吸入可能画分）	0.05 mg/m³ （MDI）	DE TRGS 900
	ピーク制限：変動要素（カテゴリー）：1；=2=(I)			
	更なる情報：皮膚吸収、OEL および生物学的許容値が遵守されていれば、胎児に悪影響を及ぼしたり、皮膚や呼吸器系を介して物質が感作されるリスクは無い。			
	更なる情報：気道および皮膚の感作の危険性。皮膚から吸収される危険性。人間および動物にがんを引き起こす物質、または人間に対して発がん性があると考えられ、MAK 値を導き出すことができる物質。MAK 値または BAT 値が観察される場合、胚または胎児への損傷の可能性は低い。			
イソブタン	75-28-5	AGW	1,000 ppm 2,400 mg/m³	DE TRGS 900
	ピーク制限：変動要素（カテゴリー）：4；(II)			
	更なる情報：健康に危険は作業場の化合物を審査する上院委員会（ドイツ MAK 委員会）。			
	更なる情報：発達神経毒性を含め、胚または胎児への損傷を評価するためのデータがないか、現在利用可能なデータがグループ A～C のいずれかに分類するには不十分です。			
ジメチルエーテル	115-10-6	TWA	1,000 ppm 1,920 mg/m³	2000/39/EC
	更なる情報：作業場上			
		AGW	1,000 ppm 1,900 mg/m³	DE TRGS 900
	ピーク制限：変動要素（カテゴリー）：8；(II)			
	更なる情報：健康に危険は作業場での化合物を審査する上院委員会（ドイツ MAK 委員会）、欧州連合（EU は限界値を設定している：値およびピーク限界の変動する可能性ある）			
	更なる情報：発達神経毒性を含め、胚または胎児への損傷を評価するためのデータがないか、現在利用可能なデータがグループ A～C のいずれかに分類するには不十分です。			
プロパン	74-98-6	AGW	1,000 ppm 1,800 mg/m³	DE TRGS 900
	ピーク制限：変動要素（カテゴリー）：4；(II)			
	更なる情報：健康に危険は作業場の化合物を審査する上院委員会（ドイツ MAK 委員会）。			
	更なる情報：発達神経毒性を含め、胚または胎児への損傷を評価するためのデータがないか、現在利用可能なデータがグループ A～C のいずれかに分類するには不十分です。			

※ AGW（ドイツ）
* 上記の値は本 安全データシートの発行日に施行されている規制等に準拠している。

8.2. 暴露管理：

適切な技術的管理　空気濃度を職業暴露基準に維持する。
特に狭い場所では十分な換気を確保する。

人的保護対策
眼／顔の保護　例：欧州規格 EN 166 に適合するサイドシールド付き保護メガネ
清水入り洗眼ボルト

手の保護　化学製品を扱う時は、認証された規格に準拠した耐薬品性、不浸透性の手袋を常時着用する必要がある。例：欧州規格 EN 374。メーカーの仕様に従う。

短時間の使用または飛沫からの保護に適している:
ブチルゴム／ニトリルゴム手袋 （厚 0.1 mm 超）
汚れた手袋は外す。
永久暴露に適している ： バイトン手袋（厚 0.4 mm）
破過時間 30 分超

皮膚および身体保護　保護衣（例：欧州規格 EN ISO 20345 に適している安全靴、長袖作業着、長ズボン）

呼吸の保護　換気が不十分な場合は呼吸器を着用する。
マスクの選択は、既知または予想される暴露レベル、製品の危険性、および選択したマスクの安全な作業限界に基づく必要がある。
有機蒸気（タイプ A）およびパティキュレートフィルター
A1：1000 ppm 未満 ；A2：5000 ppm 未満 ； A3：10000 ppm 未満
P1： 不活性物質 ；P2, P3： 危険物質
特に狭い場所では十分な換気を確保する。
作業者が暴露限界を超える濃度にさらされる場合、適切な認定マスクを使用する。

環境暴露管理
一般的な助言　地表水および排水溝などへ流さない。
本 製品にて河川および湖または排水高溝等を汚染した場合は関連局へ連絡する。

9： 理的および化学的性質

9.1 基本的な物理的および化学的性質の情報

物理的状態:	エアゾール
色:	ライトグリーン
匂い:	エーテル臭のような
融点/範囲／氷点	入手できるデータはなし
沸点／沸点範囲	入手できるデータはなし
引火性	極めて引火性の高いエアゾール
上限/下限引火性および暴露限界	
上限暴露限界/上限引火性	入手できるデータはなし

下限暴露限界/下限引火性	入手できるデータはなし
引火点	該当なし
自然引火温度	入手できるデータはなし
分解温度	入手できるデータはなし
pH 値	該当なし 物質/混合物は水に反応する。
粘性	
動的粘性	該当なし
溶解度	
水溶性	入手できるデータはなし
分解係数 ： n-オクタン/水	入手できるデータはなし
蒸気圧力	3019 hPa
密度	約 1.05 g/cm^3 (23℃)
相対蒸気密度	入手できるデータはなし
粒子蒸気密度	入手できるデータはなし

9.2 その他情報

入手できるデータはなし

10： 安定性と反応性

10.1 反応性	通常の使用条件下では危険な反応は知らさせていない。
10.2 化学安定性	本 製品は化学的に安定している。
10.3 危険有害反応	危険な反応 ： 推奨される条件下では安定。
10.4 回避すべき条件	回避すべき条件 ： 熱、火源、スパーク
10.5 互換性がない材料	回避すべき材料：酸化剤
10.6 物質危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知らされていない。

11： 毒性情報

11.1 規制（EC） No 1272/2008 にて定義されている危険クラスに関する情報

急性毒性	データ不足のため非分類。

成分：

三塩化ホスホリルおよびメチルオキシランの反応生成物

急性経口毒性　LD50 経口（ラット）： 630 mg/kg 超

急性毒性推定値 ： 630 mg/kg
方式 ： 計算値

急性吸入毒性　LC50（ラット）： 7 mg/ l 超
暴露時間 ： 4 時間
試験環境 ： ダスト/ミスト

急性経皮毒性　LD50 経皮（ラビット）： 5,000 mg/kg 超

ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート異性体および同族体

急性経口毒性　LD50 経口（ラット）： 10,000 mg/kg 超

急性吸入毒性　LC50（ラット）： 1.5 mg/ l
暴露時間 ： 4 時間
試験環境 ： ダスト/ミスト
方式 ： 専門家による
評価 ： 本成分/混合物は短期間吸入すると中程度の毒性を示す。

急性経皮毒性　LD50 経皮（ラビット）： 9,400 mg/kg 超

皮膚腐食/刺激　皮膚の炎症を引き起こす。

重度な眼の損傷/眼の刺激　重度な眼の刺激を引き起こす。

呼吸器または皮膚感作性　皮膚の炎症を引き起こす。

皮膚感作性　アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性あり。

呼吸器感作性　吸入するとアレルギーおよび喘息の症状、呼吸困難を引き起こす可能性あり。

生殖細胞の変異原性　データ不足のため非分類。

発がん性　がんを引き起こす疑いあり。

生殖毒性　データ不足のため非分類。

特定標的臓器毒性−単回暴露（STOT SE）
呼吸器への刺激を引き起こす可能性あり。

特定標的臓器毒性−反復暴露（STOT RE）
吸入すると、長期間また反復暴露すると臓器に損傷を与える可能性あり。

吸引毒性　データ不足のため非分類。

11.2 その他の危険に関する情報

内分泌かく乱特性

製品：

評価　本 物質／混合物には、REACH Article 57(f) または Commission Delegated regulation (EC) 2017/2100 または Commission Regulation (EU) 2018/605 に従い、内分泌かく乱特性があるとみなされる成分が 0.1%以上のレベルで含まれていません。

12： 環境影響情報

12.1 毒性

製品：

三塩化ホスホリルおよびメチルオキシランの反応生成物

藻類/水生植物への毒性　EC50 (プセウドキルクネリエラ属(緑藻))： 82 mg/ l
暴露時間 ： 72 時間
方式 ： OECD 試験 ガイドライン 201

NOEC (プセウドキルクネリエラ属(緑藻))： 13 mg/ l
暴露時間 ： 72 時間
方式 ： OECD 試験 ガイドライン 201

ミジンコおよびその他の水生無脊椎動物への毒性 (慢性毒性)　NOEC ： 32 mg/ l
暴露時間 ： 21 日間
種 ： オオミジンコ (ミジンコ科)
方式 ： OECD 試験 ガイドライン 202

ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート異性体および同族体

魚への毒性　LC50 (ゼブラフィッシュ)： 1000 mg/ l 超
暴露時間 ： 96 時間

藻類/水生植物への毒性　EC50 (デスモデスムス属(緑藻))： 1640 mg/ l 超
暴露時間 ： 72 時間

12.2 残存性および退化性　入手できるデータはなし

12.3 生体蓄積の可能性　入手できるデータはなし

12.4 土壌中の移動性　入手できるデータはなし

12.5 PBT および vPvB 評価の結果　入手できるデータはなし

製品:

評価　本 物質／混合物には、残留性・蓄積性・毒性を有する物質(PBT)または高残留性・高蓄積性を有する物質(vPvB)とみなされる成分が 0.1%以上のレベルで含まれていません。

12.6 内分泌かく乱特性

製品：

評価　本 物質／混合物には、REACH Article 57(f) または Commission Delegated regulation (EC) 2017/2100 または Commission Regulation (EU) 2018/605 に従い、内分泌かく乱特性があるとみなされる成分が 0.1%以上のレベルで含まれていません。

12.7 その他有害影響

製品：

追加の生態情報　本 製品に関する利用可能なデータはなし。

地球温暖化係数　国連気候変動枠踏組条約(UNFCCC)の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の評価報告書を参照。

成分：

プロパン
20 年地球温暖化係数 ： 0.072
100 年地球温暖化係数 ： 0.02
500 年地球温暖化係数 ： 0.006
大気寿命：0.036 年
放射効率：0 Wm2ppb
更なる情報：その他成分

13： 廃棄上の注意

13.1 廃棄処理方法

地域の廃棄規制に従い処分。

製品：

廃棄物の発生は可能な限り回避または最小限に抑える。
空の容器等には製品の残留物が残る場合がある。
本 物質および本 容器は安全な処理で廃棄する。
余剰製品およびリサイクルできないへ製品は認可を受けた廃棄物処理業者を通じて処分する。
本 製品、本 溶液および副産物の廃棄は、常に環境保護および廃棄物処理法の要件に従う必要があり、地域の余剰製品およびリサイクルできない製品については、認可を受けた廃棄物処理業者を通じて行う必要がある。
流出した物質および流出物の飛散、土壌、水路、排水溝、下水道との接触を避ける。

14： 輸送上の注意

14.1 国連番号または ID 番号

ADR　: UN 1950
IMDG　: UN 1950
IATA　: UN 1950

14.2. 国連正式輸送名称

ADR	: エアゾール（AEROSOLS）
IMDG	: エアゾール（AEROSOLS）
IATA	: エアゾール、引火性（Aerosols, flammable）

14.3. 運送危険クラス

	クラス	付随的なリスク
ADR	: 2	2.1
IMDG	: 2.1	
IATA	: 2.1、引火性	

14.4 梱包グループ

ADR

梱包グループ	: 規制による割り当てなし
分類コード	: 5F
危険ラベル	: 2.1
トンネル制限コード	: (D)
備考	: 3.4 章(LQ)による輸送

IMDG

梱包グループ	: 規制による割り当てなし
危険ラベル	: 2.1
EmS コード	: F-D, S-U

IATA (Cargo)

梱包指示（cargo aircraft）	: 203
梱包指示（LQ）	: Y203
梱包グループ	: 規制による割り当てなし
危険ラベル	: 引火性ガス

14.5 環境的な危険

ADR

環境的な危険性	: no

IMDG

海洋汚染	: no

IATA（Passenger）

環境的な危険性	: no

IATA（Cargo）

環境的な危険性	: no

14.6 使用者のための注意点

ここで提供される輸送分類は情報提供のみを目的としており、本 安全データシートに記載されている未梱包の材料の特性にのみ基づいている。
輸送分類は、輸送モード、荷物のサイズ、地域または国の規制等によって変わる場合がある。

14.7 IMO 文章に基づく大量海上輸送
供給された状態の製品には適用しない。

15：法令規制情報

15.1 特に化学物質または混合物質用の安全、健康および環境の規制／法規

化学兵器禁止条約（CWC = Internation Chemical Weapons Convention）　：　該当しない
有毒化学物質および前駆体のスケジュール

REACH 情報　：　本製品に含まれる全ての物質は
--- 上流サプライヤーによって登録されている、および／または
--- 製造元によって登録されている、および／または
--- 規制から除外される、および／または
--- 登録が免除される。

REACH 規制（Annex XVII）：　次のエントリ制限条件を考慮要：リスト番号 75

ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート異性体および同族体
（リスト番号 74, 56）

REACH 規制 — 認可への懸念が極めて高い物質の候補リスト（Article 59）
：　どの成分もリストされていない（0.1%以下）

REACH 規制 — 認可対象物質一覧（Annex XIV）　：　該当しない

欧州規制（EC）No 1005/2009 オゾン層を破壊する物質　：　該当しない

欧州規制（EC）No 2019/1021 残留性有機汚染物質（リキャスト）　：　該当しない

欧州規制（EC）No 649/2012 危険な化学物質の輸出入に関する欧州議会および評議会　：　該当しない

Seveso III　：　欧州指令 2012/18/EU 危険物質に関わる重大事故の危険性の管理に関わる欧州議会および評議会　：　該当しない
P3a　FLAMMABLE AEROSOLS（引火性のエアゾール）

水の危険性クラス（ドイツ）　：　WGK2　明らかに水への危険性
AwSV, Annex 1 (5.2)による分類

揮発性有機化合物（ドイツ）　：　揮発性有機化合物に対する優遇税に関する法律（VOCV）
揮発性有機化合物（VOC）含有　：　14.9%（重量）

その他規制：
欧州規制 75/324/EEC

職場、教育、学習における母親の保護に関する法律（出産保護法 - MuSchG）

化学薬品禁止条例の対象外製品です。

発がん性、生殖細胞変異原性および生殖毒性物質の TRGS 905 リストの対象となる物質が含まれいる。	ポリメチレンポリフェニルポリイソシアネート異性体および同族体 発がん性 ： 区分 2 CLP 指令の付属書による変異原性 ： 入手可能なデータに基づき、CLP 指令の付属書 I のカテゴリーに分類しない 不妊に有害性 ：入手可能なデータに基づき、CLP 指令の付属書 I のカテゴリーに分類されない

15.2 化学物質安全性評価

サプライヤーにより本 混合物の化学物性安全評価は実施されていない。

15.3 労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 （法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9）	：該当しない
	変位原性が認められた既存化学物質：該当ない （法第 57 条の 5、労働基準局長通達）	
	危険物・可燃性のガス （施行令別表第 1 第 5 号） 旧第 2 種監視化学物質（旧法第 2 条第 5 項）	：該当しない
15.4 化審法	有害物優先評価化学物質 （法第 2 条第 5 項） 平成 23 年 4 月 1 日をもって廃止）	： 該当しない
	優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項）	： 該当しない
15.5 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	第 1 種指定化学物質 （法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条部別表第 1）	： 該当しない
15.6 労働基準法	疾病化学物質 （法第 72 条第 2 項、施行規則第 35 条・別表第 1 の 2 第 4 号 1・昭 53 労告 36 号）	： 該当しない
15.7 消防法	第 4 類引火性液体、第四石油類（法第 2 条第 7 項危険物別表第 1）	
15.8 船舶安全法	高圧ガス （危規則第 3 条危険物告示別表第 1）	
15.9 航空法	高圧ガス （施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）	
15.10 高圧ガス保安法	適用除外	

15.11 ノンホルムアルデヒド製品登録認定 F☆☆☆☆ JAIA-011744

16： その他の情報

関連 H フレーズ

H220	：極めて可燃性/引火性の高いガス。
H302	：飲み込むと有害。
H315	：皮膚刺激。
H317	：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

関連 H フレーズ

H319	: 強い眼刺激。
H332	: 吸入すると有害。
H334	: 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ。
H335	: 呼吸器への刺激のおそれ。
H373	: 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ。
H412	: 長期的影響により、水生生物に有害。

その他主な略語

Acute Tox.	: 急性毒性
Aquatic Chronic	: 慢性水生毒性
Carc.	: 発がん性
Eye Irrit.	: 眼刺激性
Flam. Gas	: 可燃性または引火性ガス
Resp. Sens.	: 呼吸器感作性
Skin Irrit.	: 皮膚刺激性
Skin Sens.	: 皮膚感作性
STOT SE	: 特定標的臓器毒性-単回暴露
STOT RE	: 特定標的臓器毒性-反復暴露
2000/39/EC	: 欧州指令 職業上の暴露限界値の最初のリスト作成
DE TRGS 900	: ドイツ 職業上の暴露限界値
2000/39/EC / TWA	: 限界値 — 8 時間
DE TRGS 900 / AGW	: 時間加重平均値
ADR	: 道路による危険物の国際輸送に関する協定
CAS	: 米国の機関である化学物質に付与している登録番号
DNEL	: 導出された無影響レベル
EC50	: 50%効果濃度または半数効果濃度
GHS	: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA	: 国際航空運送協会
IMDG	: 国際海事危険物コード
LD50	: 50%致死量
LC50	: 半数致死濃度
MARPOL	: マルポール条約 船舶の航行および事故による海洋汚染を防止を目的
OEL	: 職業暴露限界
PBT	: 難分解性、高蓄積性、毒性を有する物質
PNEC	: 生態系への暴露による悪影響が測定されない限界を示す化学物質の濃度
REACH	: 欧州連合が制定した人の健康および環境の保護のために化学物質を管理する欧州議会および欧州理事会規則
SVHC	: 高懸念物質
vPvB	: 極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

更なる情報

混合物の分類：		**分類法：**
Aerosol 1	H222, H229	製品データまたは評価に基づく
Skin Irrit. 2	H315	算定
Eye Irrit. 2	H319	算定
Resp. Sens. 1	H334	算定
Skin Sens. 1	H317	算定
Carc. 2	H351	算定
STOT SE 3	H335	算定
STOT RE 2	H373	算定

本 安全データシートの内容は製品に対して弊社の持つ最新情報に基づき作成されていますが、製品の特性を保障するものでもなく、契約関係の法的根拠を与えるものではありません。

本 安全データシートの情報を現場の諸条件のリスク評価の基準として考慮し、製品の安全な取り扱い、保管、および廃棄について適切な措置を講じて下さい。

製造元の SAFETY DATA SHEET, Version 7, Print Date 22.02.2024 English による。